

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372400495
事業所名	ふれあいハウス

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 事業所は商業地区にあり、利用者は近隣のショッピングセンターや1階デイサービスに通う地域の人と挨拶を交わしたりしている。職員が地区コミュニティの井戸端会議に参加したり、市広報で地域情報を得ている。利用者は大正琴のボランティアの訪問で演奏を聞いたり、月2回お花の先生の来所で会話を交えながら華道を楽しんでいる。また、小学生の訪問は利用者の関わりの中でも思わず顔がほころんでしまう楽しみの一つである。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 会議は奇数月に半田市介護保険課職員、民生委員、包括支援センター職員、近隣福祉センター職員、家族等が参加して開催されている。毎回行事や予定、ヒヤリハット報告が行われ、外部評価結果も報告している。3月には行政による介護報酬改定に関する説明があり、その他事業所の状況や取組み内容を議題に上げ、意見交換や情報共有の場となっている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 担当の介護保険課へは議事録やパンフレット、資料を届けており、状況を知らせている。管理者は3か月に1回開催の在宅ケア推進会議に出席し、様々な情報や事例検討内容を職員に伝え、支援に活かすとともに、10月には運営について県や半田市の実施指導を受け、更なるサービスの質の向上を目指している。市主催の講演会や研修に参加し、スキルアップに向け更なる知識や情報を共有している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 職員は家族の面会時に利用者の日常の様子を伝え、意見や要望を聞き取っている。何かあれば電話でも連絡している。家族会は春と秋の年2回開催し、利用者と家族が職員同席のもと、手作りの料理と一緒に囲み、意見や要望を話しやすい雰囲気作りに努めている。中には孫と楽しい時間を過ごす人もあり、少しでも多くの方々と関わり合いたいと思っている。季節毎に年4回、様子のわかる写真入りの「ふれあい新聞」を発行している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○				